

令和4年度

事業報告書

2022年1月1日から2022年12月31日まで

特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

令和4年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していた複数のライドの中止を余儀なくされた。

10月に支援団体出身の受益対象者と共に行った軽井沢ライドにおいて2年前に行った同イベントでの知見を活かし、メンター制度、2日目の夕食時にキャリア相談セッションを実施し既存のプログラムの内容を向上させた。新たにチャレンジ振り返りワークブックを導入し受益者が自身について省みる機会を提供した。

4月に多摩湖ライド、6月に東京湾一周ライドのイベントを開催し、活動・団体の認知を高めた支援をしていただける企業とのタイアップが実現した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 111 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
教育格差に対する一般市民の認知度を高める活動	FBでの周知活動 4月の多摩湖ライド 6月の東京湾一周ライド	通年	オンライン 多摩湖 東京湾	15人	一般市民	100人	26
サイクリングのプログラムを通して子どもの社会性を育む活動	支援団体出身の若者2名と共に東京ー軽井沢間の自転車ライドを10月8日から10月10日までしました。	10月8日から10月10日まで	東京ー軽井沢	11人	母子家庭出身者/在日外国人家庭出身者	2人	85
児童養護施設における交流会事業	実施なし。	通年	国内児童養護施設（茨城県） オンライン	0人	児童養護施設の小・中・高校生。	0人	0
子どもの教育格差にかかわる団体への支援事業	実施なし。	通年	日本国内	0人	こどもの教育格差是正に関わる団体	0人	0
その他目的を達成するために必要な事業	実施なし	-	-	-	-	-	-

令和4年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		320,000
正会員受取会費	320,000	
賛助会員受取会費	0	
2 受取寄附金		333,000
受取寄附金	333,000	
施設等受入評価益		
3 受取助成金等		0
受取補助金	0	
4 事業収益		13,000
教育格差に対する一般市民の認知度を高める活動	0	
サイクリングのプログラムを通して子どもの社会性をはぐくむ活動	13,000	
児童養護施設における交流会事業	0	
子どもの教育格差にかかわる団体への支援事業	0	
その他目的を達成するために必要な事業	0	
5 その他の収益		1,049
受取利息	13	
雑収入	1,036	
経常収益計		667,049
【B】 経常費用		
1 事業費		0
(1) 人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
(2) その他経費		0
会議費	0	
旅費交通費	0	
施設等評価費用	0	
減価償却費	0	
印刷製本費	0	
事業費計		0
2 管理費		112,934
(1) 人件費		0
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
(2) その他経費		112,934
消耗品費	7,950	
会議費		
旅費交通費	27,970	
広告宣伝費	26,764	
印刷製本費	0	
諸会費	1,100	
賃借料	49,000	
水道光熱費	0	
支払手数料	150	
支払寄付金	0	
管理費計		112,934
経常費用計		112,934
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		554,115
【C】 経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		554,115
法人税、住民税及び事業税・・・④	0	
前期繰越正味財産額・・・⑤	0	
次期繰越正味財産額③－④+⑤		554,115

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティー

科目	金額	小計・合計
【A】 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,982,384	
未収金	0	
棚卸資産	0	
流動資産合計・・・①		1,982,384
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		0
車両運搬具	0	
什器備品	0	
(2) 無形固定資産		0
ソフトウェア	0	
借地権	0	
(3) 投資その他の資産		0
敷金	0	
長期貸付金	0	
固定資産合計・・・②		0
【A】 資産合計 ①+②		1,982,384
【B-1】 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金	0	
流動負債合計・・・③		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金	0	
固定負債合計・・・④		0
負債合計 ③+④		0
【B-2】 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	1,428,269	
当期正味財産増減額	554,115	
正味財産合計		1,982,384
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】		1,982,384

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティ

科目	金額	小計	合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
楽天銀行普通預金	1,982,384		
		1,982,384	
未収金			
教育格差に対する一般市民の認知度を高める活動事業未収金	0		
サイクリングのプログラムを通して子どもの社会性をはぐくむ活動	0		
児童養護施設における交流会事業未収金	0		
子どもの教育格差にかかわる団体への支援事業未収金	0		
その他目的を達成するために必要な事業未収金	0		
そのほか未収金	0		
		0	
棚卸資産			
販売用寄附物品	0		
		0	
流動資産合計・・・①			1,982,384
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具			
事業用車両	0		
		0	
什器備品			
パソコン	0		
		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
オペレーションシステム	0		
文書編集ソフト	0		
		0	
借地権			
弦巻事業所	0		
		0	
(3) 投資その他の資産			
敷金			
弦巻事業所	0		
		0	
長期貸付金			
楽天銀行	0		
		0	
固定資産合計・・・②			0
【A】 資産合計 ①+②			1,982,384
【B-1】 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
給与	0		
		0	
預り金			
源泉徴収税	0		
		0	
流動負債合計・・・③			0
2 固定負債			
長期借入金			
楽天銀行借入金	0		
		0	
退職給付引当金			
職員	0		
		0	
固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負債合計 ③+④			0
【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】			1,982,384

2022年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人サイクリング・フォー・チャリティー

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに ○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	理事	カハシ ヨウスケ 高橋 陽介	2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日	日 年 月 ～ 日 年 月
2	副理事	ヨコオ アキヒサ 横尾 明久	2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日	日 年 月 ～ 日 年 月
3	理事	ハング チー タング コウ ケイトウ (ゲリー ハング) HUNG CHI TANG 洪 啓棠 (ゲリー ハン グ)	2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日	日 年 月 ～ 日 年 月
4	監事	カマタ アツシ 鎌田 淳	2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日	日 年 月 ～ 日 年 月
5	監事	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎	2021年 4月 1日 ～ 2022年 3月 31日	日 年 月 ～ 日 年 月

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人サイクリング・フォー・チャリティー

	氏 名
1	高橋 陽介
2	横尾 明久
3	HUNG CHI TANG 洪 啓棠 (ゲリー ハング)
4	高松 英彦
5	鎌田 淳
6	山本 健太郎
7	望月 淳
8	吉武 大作
9	福田 哲
10	高橋 裕輔

監査報告書

2023年3月24日

特定非営利活動法人
サイクリング・フォー・チャリティー
理事長 高橋 陽介 様

監事 鎌田 淳
監事 山本 健太郎

私は、特定非営利活動促進法 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人 サイクリング・フォー・チャリティーの 2022 年度（令和 4 年 1 月 1 日～令和 4 年 12 月 31 日）の業務監査及び会計監査を実施した。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問を行い、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO 法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私は、上記期間に係る事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が 2022 年（令和 4 年）12 月 31 日における財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上